

こくぶんじし
国分寺市

しょうがいしゃ じ しさく かん ちょうさ あん
障害者（児）施策に関するアンケート調査（案）

～ ご協力 のお願い ～

ひごろ ほんし しょうがいしゃ じ しさく すいしん りかい きょうりょく
日頃より、本市の障害者（児）施策の推進にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市では、皆様の生活のご様子や福祉サービスに対するご意見等をいただき、
しょうがい かた く よ けいかく さくてい む ちょうさ じっし
障害のある方の暮らしをより良くするための計画の策定に向け、アンケート調査を実施
します。

こくぶんじし しょうがいしゃ じ しさく じゅうじつ い おも
国分寺市の障害者（児）施策の充実に活かしていきたいと思っておりますので、ぜひ、ご
きょうりょく ねが もう あ
協力くださいますようお願い申し上げます。

れいわ ねん がつ
令和4年8月

こくぶんじしちょう
国分寺市長

いざわ くに お
井澤 邦夫

き にゅう ねが
<ご記入にあたってのお願い>

- このアンケートは、国分寺市に住所がある、または市が援護を実施している、身体
しょうがい ちてきしょうがい せいしんしつかん なんびょうとう じどう そうふ
障害、知的障害、精神疾患、難病等の児童に送付しています。
- 回答は、封筒の宛名ご本人を主にサポートしている方（保護者の方など）が回答してくだ
さい。
- 調査票や返信用封筒にお名前やご住所を書く必要はありません。また、このアンケート
りょう こじん とくてい
を利用して個人を特定することはありません。

かいとうご どうふう へんしんようふうとう い きって は とうかん
◎回答後は同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。

とうかんきげん れいわ ねん がつ にち げつ
【投函期限 令和4年9月26日（月）】

ふめい てん てん ぼあい えんりよ と あ
ご不明な点やわかりにくい点がある場合は、ご遠慮なくお問い合わせください。

◆このアンケートに関するお問い合わせ先◆

こくぶんじし ふくし ぶ しょうがいふくしか
国分寺市 福祉部 障害福祉課

でんわ
電話 : 042 (325) 0111 《内線 521》

ファクス : 042 (324) 6831

Eメール : syougaihukushi@city.kokubunji.tokyo.jp

1 基本情報

◆このページは、ぜんいん全員におたずねします。

と問1 この調査票を記入していただく方はどなたですか。(1つに○)

1. ちちおや ははおや父親・母親
2. おやいがい かぞく親以外の家族
3. たその他 ()

と問2 こお子さまの年齢を教えてください。
れいわ ねん ねん がつ にちげんざい
(令和4年(2022年)8月1日現在)

1. さい0～5歳
2. さい6～17歳

と問3 こお子さまのお住まいの地域はどこですか。(1つに○)

1. ひがしもとまち にしもとまち みなみちょう いずみちょう東元町・西元町・南町・泉町
2. ひよしちょう ないとう にしこいがくほ日吉町・内藤・西恋ヶ窪
3. ひかりちょう たかぎちょう にしまち光町・高木町・西町
4. ふじもと しんまち なみきちょう きたまち とくら ひがしとくら富士本・新町・並木町・北町・戸倉・東戸倉
5. ほんちょう ほんだ ひがしこいがくほ本町・本多・東恋ヶ窪
6. たその他 ()

と問4 こお子さまは今どこで暮らしていますか。(1つに○)

1. ざいたく在宅
2. しょうがいじ ふくししせつ にゅうしょ障害児の福祉施設に入所
3. たその他 ()

2 障害の状況について

◆全員におたずねします。

問5 お子さまがお持ちの障害者手帳または受けている診断名などについておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

てちょう しゅるい しんだんめい 手帳の種類または診断名など	しょうがい どうきゅう 障害の等級など
<p>1. 身体障害者手帳を持っている (手帳をお持ちの方は、 右の障害の程度と障害の種類にも ○をつけてください。)</p>	<p>(1) 手帳に書いてある障害の程度 (総合等級)は何級ですか</p> <p>① 1級 ② 2級 ③ 3級 ④ 4級 ⑤ 5級 ⑥ 6級</p> <p>(2) どのような障害ですか</p> <p>① 視覚障害 ② 聴覚障害 ③ 平衡機能障害 ④ 音声・言語・そしゃく機能障害 ⑤ 肢体不自由 ⑥ 内部障害(心臓・呼吸器・じん臓・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓・免疫機能障害)</p>
<p>2. 愛の手帳を持っている (手帳をお持ちの方は、右の障害程度にも○をつけてください。)</p>	<p>手帳に書いてある障害はどの程度ですか</p> <p>① 1度 ② 2度 ③ 3度 ④ 4度</p>
<p>3. 精神障害者保健福祉手帳を持っている (手帳をお持ちの方は、右の障害等級にも○をつけてください。)</p>	<p>手帳に書いてある障害は何級ですか</p> <p>① 1級 ② 2級 ③ 3級</p>
<p>4. 精神障害者保健福祉手帳は持っていないが、</p>	<p>精神疾患の診断を受けている</p>
<p>5. 発達障害の診断を受けている</p>	
<p>6. 高次脳機能障害の診断を受けている</p>	
<p>7. 難病の診断を受けている</p>	

【問5の続き】

<small>てちょう しゅるい しんだんめい</small> 手帳の種類または診断名など	<small>しょうがい とうきゅう</small> 障害の等級など
8. 日常的に医療的ケア（※）が必要である （該当の方は、右の受けている医療的ケアにも○をつけてください。）	受けている医療的ケアは何ですか ① たん吸引 ② 経管栄養（胃ろうなど） ③ 吸入 ④ 人工呼吸器 ⑤ 酸素療法 ⑥ 気管切開 ⑦ 導尿 ⑧ その他（ ）

（※）たん吸引、経管栄養（胃ろうなど）、人工呼吸器、酸素療法、導尿など、医師の指示や管理のもと、家族や看護師等が行う医療的な生活援助行為のこと

◆全員におたずねします。

問6 お子さまの障害や心身の不調に気付いたきっかけは何ですか。（1つに○）

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 医療機関での受診 | 4. 健康診断（乳幼児健診など） |
| 2. 保育所（保育園）・幼稚園等の先生からの勧め | 5. 家族など身近な人からの勧め |
| 3. 学校の先生からの勧め | 6. その他（ ） |

問7 お子さまの障害や心身の不調に気付いてから、すぐに専門機関へ相談しましたか。（1つに○）

- | |
|------------------|
| 1. 1か月以内に相談した |
| 2. 半年以内に相談した |
| 3. 1年以内に相談した |
| 4. 1年以上経ってから相談した |

◆問7で「2. 半年以内に相談した」「3. 1年以内に相談した」「4. 1年以上経ってから相談した」と答えた方におたずねします。

問8 すぐに相談しなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 相談する必要性を感じなかった | 5. 家族や親戚が希望しなかった |
| 2. 相談先がわからなかった | 6. 子どもが希望しなかった |
| 3. 成長すれば変わると思った | 7. その他 |
| 4. 相談する時間がなかった | （ ） |

3 介助の状況について

◆^{ぜんいん}全員におたずねします。

問9 ^とお子さまを主に^か介助・^し支援している人は^どなたですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. ^{ちちおや} 父親 | 6. ホームヘルパー |
| 2. ^{ははおや} 母親 | 7. ボランティア |
| 3. ^{きょうだいしまい} 兄弟姉妹 | 8. ^た その他 |
| 4. ^{そふぼ} 祖父母 | () |
| 5. ^{た しんぞく} その他親族 | 9. ^{かいじょ しえん ひつよう} 介助・支援は必要ない |

◆問9で「1～5」の家族や親族と答えた方におたずねします。

問10 ^とお子さまを主に^か介助・^し支援している人は^{なん}何歳ですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. ^{さいみまん} 18歳未満 | 4. ^{さい} 65～74歳 |
| 2. ^{さい} 18～39歳 | 5. ^{さいいじょう} 75歳以上 |
| 3. ^{さい} 40～64歳 | |

問11 ^とお子さまを主に^か介助・^し支援している人は、^こお子さま以外の^{かた}方の^せ世話や^{かいご}介護をされていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|----------------------------------|
| 1. ^{こうれいしゃ りょうしん そふぼとう} 高齢者(両親・祖父母等)の介護 | 5. ^{しょうがい かた} 障害のある方の介護 |
| 2. ^{はいぐうしゃ} 配偶者の介護 | 6. ^た その他 |
| 3. ^こ 子ども(就学児・未就学児)の子育て | () |
| 4. ^{びょうき かた} 病気の方の介護 | 7. していない |

問12 ^とお子さまを主に^か介助・^し支援している人が、^こお子さまを^{かいじょ しえん}介助・支援できなくなった場合は、^{どう}したいですか。(主なもの3つまで○)

- | |
|---|
| 1. ^{いっしょ す} 一緒に住んでいる家族に頼む |
| 2. ^{べつ す} 別に住んでいる家族や親族に頼む |
| 3. ^{きょたくかいご} 居宅介護(ホームヘルプ)を利用する |
| 4. ^{たんきにゅうしょ} 短期入所(ショートステイ)を利用する |
| 5. ^{しょうがいじ ふくしせつ} 障害児の福祉施設に入所する |
| 6. ^{びょういん にゅういん} 病院に入院する |
| 7. ^た その他() |
| 8. どうしたらよいかわからない |

4 福祉サービスについて

◆**全員**におたずねします。

問13 お子さまのサービスの利用状況と利用意向についておたずねします。また、現在利用しているサービスについて、満足度をおたずねします。サービスごとに、あてはまるものに○をしてください。

- A. サービスごとに利用状況・利用意向を選んでください。(1つに○)
 B. Aで「3 現在利用している」を選んだ方は、サービスの満足度を選んでください。(1つに○)

(1) 主に18歳未満の方が利用するサービス(児童福祉法に基づく支援)

サービス名	サービス内容
1 障害児相談支援	障害児通所支援を利用する児童について、障害児支援利用計画の作成を行います。
2 医療型 児童発達支援	肢体不自由があり、理学療法等の機能訓練又は医療的な支援が必要な児童に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等の支援を行います。
3 児童発達支援	未就学の障害児に対して日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等の支援を行います。
4 放課後等 デイサービス	学校就学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供します。
5 保育所等訪問支援	保育所等を利用中(利用予定)の児童が、集団生活の適応のための専門的な支援を必要とする場合に、保育所等を訪問して支援することで、保育所等の安定した利用を促進します。
6 訪問型 児童発達支援	重度の障害等により外出が著しく困難な障害児に対し、居宅を訪問して発達支援を提供します。

サービス名 めい	A 利用状況・利用意向 りようじょうきょう りよういこう (1つに○)			B 満足度 まんぞくと Aで、「3 現在利用し げんざいりよう ている」と答えた方に こた かつた おたずねします。 (1つに○)		
	1 今後利用したい こんごりよう げんざいりよう	2 現在利用して おらず、 今後利用 予定はない こんごりよう げんざいりよう	3 現在利用 している (B欄をお 答えく ださい) げんざいりよう うん	1 満足 まんぞく	2 ほぼ満足 ほぼまんぞく	3 不満 ふまん
記入例A きにゅうれい	1	2	3	1	2	3
記入例B きにゅうれい	1	2	3	1	2	3
1 しょうがいじそうだんしえん 障害児相談支援	1	2	3	1	2	3
2 いりょうがた 医療型 じどうはったつしえん 児童発達支援	1	2	3	1	2	3
3 じどうはったつしえん 児童発達支援	1	2	3	1	2	3
4 ほうかごとう 放課後等デイサービス	1	2	3	1	2	3
5 ほいくしよとうほうもんしえん 保育所等訪問支援	1	2	3	1	2	3
6 ほうもんがた 訪問型 じどうはったつしえん 児童発達支援	1	2	3	1	2	3

【問13の続き】

A. サービスごとに利用状況・利用意向を選んでください。(1つに○)

B. Aで「3 現在利用している」を選んだ方は、サービスの満足度を選んでください。
(1つに○)

(2) 児童期から利用できるサービス(障害者総合支援法に基づく支援)

サービス名	サービス内容
7 きよたくかいご 居宅介護 (ホームヘルプ)	<p>じたく にゆうよく はい しょくじ かいご おこな 自宅で、入浴、排せつ、食事などの介護を行います。</p> <p>じたく ちょうり へ や そうじ せんたく かいものとう しえん 自宅で、調理、部屋の掃除、洗濯、買物等の支援をしま す。通院するとき付添い支援をします。</p>
8 こうどうえんご 行動援護	<p>ちてきしょうがい せいしんしょうがい こうどう むずか かた 知的障害や精神障害で、ひとりでの行動が難しい方 に、危険を避けるために必要な行動の手助けや、外出す る時の移動を支援します。</p>
9 どうこうえんご 同行援護	<p>しかくしょうがい いどう むずか かた 視覚障害で、ひとりでの移動が難しい方のために、 がいしゅつ どうこう いどう しえん 外出するとき同行して移動の支援をします。また、 がいしゅつさき だいひつ だいどく 外出先での代筆や代読もします。</p>
10 たんきにゆうしょ 短期入所 (ショートステイ)	<p>じたく かいご かぞく びょうき からだ 自宅で介護している家族などが病気になったときや、体 ころ ぎゅうそく ひつよう しょうがい かた や心の休息が必要になったときなどに、障害のある方 みじか きかんしせつ しゅくはく しょくじ にゆうよく に短い期間施設に宿泊してもらい、食事や入浴などの しえん 支援をします。</p>
11 いどうしえんじぎょう 移動支援事業	<p>よ かつどうとう がいしゅつ さい こべつ 余暇活動等の外出の際に、個別にマンツーマンでヘルパ ーが付き添い、外出時や外出先での移動の支援を行 います。</p>
12 にっちゅういちじしえんじぎょう 日中一時支援事業 (日中時間預かり)	<p>じたく かいご かぞく びょうき からだ 自宅で介護している家族などが病気になったときや、体 ころ ぎゅうそく ひつよう しょうがい かた や心の休息が必要になったときなどに、障害のある方 ひるましせつ あず を昼間施設で預かります。</p>

サービス名	A 利用状況・利用意向 (1つに○)			B 満足度 Aで、「3 現在利用している」と答えた方 におたずねします。 (1つに○)		
	1 今後利用したい	2 現在利用していませんが、 今後も利用予定はない	3 現在利用している (B欄をお答えください)	1 満足	2 ほぼ満足	3 不満
7 居宅介護 (ホームヘルプ)	1	2	3	1	2	3
8 行動援護	1	2	3	1	2	3
9 同行援護	1	2	3	1	2	3
10 短期入所 (ショートステイ)	1	2	3	1	2	3
11 移動支援事業	1	2	3	1	2	3
12 日中一時支援事業 (日中時間預かり)	1	2	3	1	2	3

◆問13Aで「3 現在利用している」に1つも○がない方におたずねします。

問14 お子さまが障害福祉サービスを利用していない理由は何ですか。(1つに○)

1. 必要でない
2. 必要なサービスがない
3. サービスを受けたいが、サービスの内容や相談先がよくわからない。
4. サービスの利用料が高い
5. 施設に空きがない
6. 障害福祉サービスを知らなかった
7. その他 ()

◆問13Bで「3 不満」に○が1つ以上ある方におたずねします。

問15 お子さまが障害福祉サービスに不満を感じている理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 事業者のサービスの質が良くない
2. 希望したサービス内容ではない
3. 支給決定を受けたがサービスが受けられない
4. 希望する曜日・時間にサービスが受けられない
5. サービスの利用料が高い
6. サービスの支給量が少ない
7. 希望する事業者や施設が見つからない
8. その他 ()

◆お子さまが15歳以上（令和4年8月1日現在）の方におたずねします。

問16 お子さまのサービスの利用意向についておたずねします。サービスごとにあてまるもの1つに○をしてください。

[主に18歳以上の方が利用するサービス（障害者総合支援法に基づく支援）]

サービス名	サービス内容	利用意向 (1つに○)	
		1 今後利用したい	2 利用予定はない
1 計画相談支援	障害福祉サービス等の利用を希望する方について、心身の状況等を考慮し、サービス等利用計画を作成します。計画の内容について一定期間ごとに検証（モニタリング）を行い、必要に応じて計画の変更を行います。	1	2
2 地域移行支援	地域での生活に移行するための相談、外出への同行支援、関係機関との調整などの支援を行います。	1	2
3 地域定着支援	居宅において単身等で生活する障害のある方に対して、常時の連絡体制を確保し、緊急時の相談等に対応します。	1	2
4 重度訪問介護	重い障害があり、常に介護が必要な方に、自宅で入浴、排せつ、食事などの手助けをします。また、外出するときの移動の支援もします。	1	2
5 生活介護	常に介護が必要な方に、施設で昼間、入浴、排せつ、食事などの手助けをするとともに、ものづくり出す創作的・生産的活動を行います。	1	2
6 療養介護	医療が必要で、常に介護も必要な方に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、日常生活の支援などをします。	1	2
7 自立訓練 (機能訓練)	施設で、身体機能や生活能力維持向上のため、リハビリテーションなどを受けることができます。	1	2
8 自立訓練 (生活訓練)	施設で、食事や家事などの日常生活に関する訓練や芸術、文化、スポーツなど様々なプログラムを通して生活の幅を広げる訓練を受けることができます。	1	2

サービス名		サービス内容	利用意向 (1つに○)	
			1 今後利用 したい	2 利用予 定はない
9	就労移行支援	一般企業などで働くことを希望する人に、一定期間、必要となる知識や能力を向上させるための訓練をします。	1	2
10	就労継続支援 (A型)	一般企業への就労に結びつかなかった方で、雇用契約に基づく就労が可能である方に、働く場を提供するとともに、知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。	1	2
11	就労継続支援 (B型)	一般企業等での就労が困難な方や、一定年齢に達している方に、働く場を提供するとともに、知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。	1	2
12	就労定着支援	就業に伴う生活面の課題に対応できるよう、事業所や家族との連絡調整等の支援を行います。	1	2
13	自立生活援助	施設入所支援や共同生活援助を利用していた方等を対象として、定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談、助言等を行います。	1	2
14	共同生活援助 (グループホーム)	地域で共同生活をしている方に、住居における相談や日常生活での援助をします。また、入浴、排せつ、食事などで介護が必要な方には介護サービスも行います。	1	2
15	施設入所支援	施設に入所している方に、入浴、排せつ、食事などの手助けをします。	1	2

5 その他のサービスについて

◆**全員**におたずねします。

問17 お子さまは、次のようなサービスを利用していますか。また、現在はサービスを利用していないが、今後利用したいと思うサービスはありますか。サービスごとに、あてまるもの1つに○をしてください。

サービス名	サービス内容	利用状況・利用意向 (1つに○)		
		1 今後利用したい	2 現在利用していないが、 今後利用予定はない	3 現在利用している
1 地域活動支援センター	障害のある方の日中活動の支援をします。 (生活上の相談、レクリエーション、焼き物、絵を描くなど)	1	2	3
2 意思疎通支援	聴覚、言語機能、音声機能、視覚などの障害により意思疎通を図ることに支障がある方に対し、手話通訳者や要約筆記者を派遣するなどの支援を行います。	1	2	3
3 日常生活用具等 給付	障害の内容や程度に応じ日常生活を送るために必要な用具の給付を受けることができます。	1	2	3
4 重度身体障害者 (児)住宅整備 改善給付	在宅の重度の身体障害者(児)に対し、現在居住する在宅の設備改善(玄関、便所など)するための費用を給付します。	1	2	3
5 訪問入浴 サービス	家庭で入浴することが困難な寝たきり等の重度心身障害者(児)に対し、巡回入浴車を派遣し定期的に入浴できるようにします。	1	2	3
6 心身障害者(児) 通院・通所訓練等 交通費助成	重度の身体障害または重度の知的障害の方、内部障害3級の方が、通院・通所訓練等の際にかかる交通費の助成を受けることができます。	1	2	3

6 教育・保育について

◆お子さまが小学校就学前の方に問18と問19をおたずねします。

問18 お子さまは、どこに通園・通所していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 保育所 (保育園) | 4. 児童発達支援事業所 |
| 2. 幼稚園 | 5. その他 () |
| 3. こどもの発達センターつくしんぼ | 6. どこにも通園・通所していない |

問19 お子さまの通園・通所で困っていることや心配していることはありますか。
(主なもの3つまで○)

1. 周囲の子どもとの関係
2. 教職員の指導の仕方
3. 本人の成長
4. 今後の進路
5. 子どもの将来
6. 保育や療育に関する情報が少ない
7. 療育・リハビリテーションの機会が少ない
8. 費用など経済的な負担が大きい
9. 送迎が大変
10. その他 ()
11. 特になし

◆お子さまが小学校就学後の方におたずねします。

問20 お子さまは、どこに通学していますか。(1つに○)

1. 通常の学級 (小・中学校)
2. 通常の学級と特別支援教室 (小・中学校)
3. 特別支援学級 (小・中学校)
4. 特別支援学校 (小・中・高等部)
5. 高等学校・高等専門学校
6. その他 ()
7. どこにも通学していない

◆お子さまが小学校就学後の方におたずねします。

問21 お子さまの通学で困っていることや心配していることはありますか。
(主なもの3つまで○)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 周囲の子どもとの関係 | 8. 教育や療育に関する情報が少ない |
| 2. いじめ | 9. 療育・リハビリテーションの機会が少ない |
| 3. 教職員の指導の仕方 | 10. 費用など経済的な負担が大きい |
| 4. 本人の成長 | 11. 送迎が大変 |
| 5. 今後の進路 | 12. その他 |
| 6. 子どもの将来 | () |
| 7. 通学先が遠い | 13. 特にな |

7 将来について

◆全員におたずねします。

問22 お子さまが、今後(将来)仕事に就くために必要だと思われることは何ですか。(主なもの3つまで○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 就職に向けた相談 | 7. 障害特性に配慮した職場環境の整備 |
| 2. 就職に向けた本人、家族への説明会 | 8. 就職後の相談、支援(定着支援) |
| 3. 給料が充実していること | 9. 企業、上司、同僚の理解 |
| 4. 就職先の紹介等の支援 | 10. その他 |
| 5. 就職に必要な知識、技術等の習得 | () |
| 6. 本人の健康管理等の支援 | 11. わからない |

問23 お子さまが、今後(将来)どのような住まいで生活することを希望していますか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1. ひとり暮らし |
| 2. 親との同居 |
| 3. 親以外の家族と同居 |
| 4. 障害者(児)の福祉施設 |
| 5. グループホーム(世話人による介護や支援、見守りがある少人数で共同生活を行う場) |
| 6. その他() |
| 7. わからない |

8 外出について

◆全員におたずねします。

問24 お子さまはどれくらい外出しますか。

通学，通院等の外出も含めてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1. ほぼ毎日 | 5. 年に数回程度 |
| 2. 週に3・4回 | 6. その他 () |
| 3. 週に1回程度 | 7. まったく外出しない(用事がないため) |
| 4. 月に1・2回程度 | 8. 外出したいが，できない |

問24で「8. 外出したいが，できない」と答えられた方におたずねします。

問25 外出できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 体力に自信がない | 4. 介助者がいない |
| 2. 移動の手段の確保が困難 | 5. 外出に要する費用を負担できない |
| 3. 施設等がバリアフリー化されていない | 6. その他 () |

◆全員におたずねします。

問26 お子さまが外出するとき，どのようなことに不便や困難を感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 歩道が少なく，段差が多い
2. 建物内へのスロープやエレベーターが設置されている施設が少ない
3. 障害者用トイレが少ない
4. 視覚障害者用の信号機，点字ブロックが少ない
5. 障害者用の駐車場が少ない
6. 道路に放置自転車など障害物が多い
7. 歩行者や走行自転車のマナーが悪い
8. 付き添いをしてくれる人がいない
9. 困ったとき，周りの人の助けが得られない
10. その他 ()
11. 特にない

9 さいがい そな 災害への備えについて

◆このページは、ぜんいん 全員におたずねします。

問27 とい こ お子さまにとって、じしん 地震などのさいがい 災害が発生したときに、こま 困ることやふあん 不安なこととは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. さいがい 災害のじょうほう 情報を知る方法がない
2. じょうほう 情報が必要なかわからない
3. ひなん 避難すればよいか知らない
4. こうどう 行動を取ればよいかわからない
5. ざいたくひなん 在宅避難するには何が必要かわからない
6. たす 助けを求める方法がない
7. ちか 近くに助けてくれる人がいない
8. ひとり 一人では避難できない
9. ひなんじょ 避難所のせつび 設備がしょうがい 障害にたいおう 対応しているかふあん 不安
10. ひなんじょ 避難所でひつよう 必要なしえん 支援がうけられるかふあん 不安
11. ひなんじょ 避難所でほか 他の人といっしょ 一緒に過ごすのがむずか 難しい
12. くすり 薬やいりょうてき 医療的ケアをかくほ 確保できるかどうかふあん 不安
13. いりょうき 医療機器のでんげん 電源確保がしんぱい 心配
14. その他 ()
15. とく 特にない

問28 とい こ お子さまやあなた(ほごしゃ 保護者の方)は、さいがい 災害に対してどのようなそな 備えをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ひごろ から家族でさいがい 災害時のたいおう 対応を話し合っている
2. ひじょうじも 非常時持ち出し品のようい 用意、ひじょうしょく 非常食などのびちく 備蓄をしている
3. か 家具転倒防止器具をとりつけている
4. ひじょうようはつてんき 非常用発電機をそな 備えている
5. じびょう 持病などでひつよう 必要なくすり 薬やいりょうきかん 医療機関のれんらくさき 連絡先などをそな 備えている
6. きんじょ 近所の人やひと 知人などに、さいがい 災害が発生したときのたす 助けをねが お願いしている
7. さいがい 災害時避難行動要しえんしゃ 支援者」にとうろく 登録している
8. しゅうい 周囲にてだす 手助けやはいりよ 配慮を求めやすくするへるぷまーく ヘルプマークやへるぷかーど ヘルプカードをもち 持っている
9. その他 ()
10. とく 特にない

10 相談や福祉の情報について

◆このページは、全員におたずねします。

問29 お子さまについて、日常生活に関して、不安や課題を感じていることはありますか。(主なもの3つまで○)

1. 障害について十分に理解されていない
2. 障害に応じた十分な支援を受けていない
3. 同級生や友人との関係
4. 保育・教育のことについて、相談できる場所がない
5. 障害の状況に応じた専門的な療育を受けられる場所・機会が少ない
6. 障害児施設(つくしんぼ, 児童発達支援事業所, 放課後等デイサービスなど)で十分な支援を受けていない
7. 医療的ケア(たん吸引, 経管栄養など)を受けられる障害児施設が少ない
8. 障害児施設以外に利用できる放課後, 休日などの活動場所が少ない
9. 余暇活動(外出, スポーツ, 趣味, その他の習いごとなど)
10. その他()
11. 特にない

問30 あなた(保護者の方)は、日常生活に関して、不安や課題を感じていることはありますか。(主なもの3つまで○)

1. 子どもの養育・介護による負担が大きい
2. 子どもの養育・介護のため、保護者が就労できない、あるいは制限される
3. 子どもの養育・介護から離れて休息できる時間が取れない
4. 子どもの子育てや家庭での困りごとについて、相談できる場所がない
5. 地域でかけられる医療機関が少ない
6. 往診や訪問看護, 訪問リハビリなどの在宅医療が十分でない
7. 医療や病気のことについて、相談できる場所がない
8. 子どもの療育・介護について、福祉サービスが十分でない
9. その他()
10. 特にない

◆**全員**におたずねします。

問31 あなた（保護者の方）が知っている、または利用したことがある相談窓口・
 機関はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

相談窓口・機関名	①認知度・利用状況 (1つに○)			②満足度 ①で「3 利用したことがある」 と答えた方におたずねします。 (1つに○)			
	1 知らない	2 知っているが、 利用したことはない	3 利用したことがある (②をお答えください。)	1 満足している	2 やや満足している	3 あまり満足していない	4 不満である
記入例 ①	1	②	3	1	2	3	4
記入例 ②	1	2	③	1	②	3	4
1. 市役所障害福祉課	1	2	3	1	2	3	4
2. 市障害者基幹相談支援センター	1	2	3	1	2	3	4
3. 地域活動支援センター (つばさ・虹・プラッツ)	1	2	3	1	2	3	4
4. こどもの発達センターつくしんぼ	1	2	3	1	2	3	4
5. 相談支援事業所 (※)	1	2	3	1	2	3	4
6. 市障害者就労支援センター	1	2	3	1	2	3	4
7. 保健所	1	2	3	1	2	3	4
8. 民生委員・児童委員	1	2	3	1	2	3	4
9. 社会福祉協議会	1	2	3	1	2	3	4
10. 教育相談室 (ひかりプラザ)	1	2	3	1	2	3	4
11. 保健センター (いずみプラザ)	1	2	3	1	2	3	4
12. 東京都発達障害者支援センター (世田谷区)	1	2	3	1	2	3	4
13. 東京都難病相談・支援センター (文京区)	1	2	3	1	2	3	4
14. 東京都多摩難病相談・支援室 (府中市)	1	2	3	1	2	3	4

(※) 市内の相談支援事業所は、つばさ、虹、プラッツ、あいうい・生活サポートセンター、ヘルパーステーションびいと、
 コトリナ、つくしんぼ、すこやか、ゼフィール国分寺、空にたね、ラミュール、チェンジアップの計12事業所あります。

◆全員におたずねします。

問32 お子さまのことであなた（保護者の方）は、福祉サービス等に関する情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市役所障害福祉課の窓口
2. 市の施設（図書館・公民館など）
3. 地域活動支援センター（つばさ・虹・プラッツ）の窓口
4. 市障害者基幹相談支援センターの窓口
5. 相談支援事業所（20ページ（※）参照）の窓口
6. 施設等（福祉作業所を含む）の職員・掲示板
7. 病院の職員・掲示板
8. 市報こくぶんじ
9. 市のホームページ
10. 市の刊行物（障害福祉ガイドブック、暮らしのガイドなど）
11. 市のツイッター
12. 障害当事者団体の会合・会報など
13. 友人から聞く
14. インターネット
15. その他（）
16. 特にない・情報は入手していない

11 ヘルプマークとヘルプカードについて

「ヘルプマーク」とは、援助や配慮を必要としていることが外見からはわからない人が、援助を得やすくなるよう、周囲の人に知らせるものです。なお、右の図でヘルプマークを掲載しておりますが、実物については背景が赤色で、図形が白色となります。



「ヘルプカード」とは、困っていることや、必要な支援について記載できる携帯用のカードのことです。



◆**全員におたずねします。**

問33 あなた（保護者の方）はヘルプマークまたはヘルプカードを知っていますか。
(1つに○)

- 1. はい
- 2. いいえ

◆問33で「1. はい」と答えた方におたずねします。

問34 お子さまはヘルプマークまたはヘルプカードを持っていますか。(1つに○)

- 1. はい
- 2. いいえ

◆問34で「1. はい」と答えた方におたずねします。

問35 お子さまはヘルプマークまたはヘルプカードを使用することで、周囲の手助けが受けられたことはありますか。(1つに○)
(電車、バスで優先席に座りやすくなったなど)

- 1. はい
- 2. いいえ

◆問34で「2. いいえ」と答えた方におたずねします。

問36 ヘルプマークまたはヘルプカードを持っていない理由は何ですか。(1つに○)

- 1. 必要としていない
- 2. 入手方法がわからない
- 3. 使い方がわからない
- 4. その他 ()
- 5. 特にない

12 障害を理由とする差別について

◆**全員におたずねします。**

問37 お子さまは過去3年の間に障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことがありますか。(1つに○)

- 1. よくある
 - 2. ときどきある
 - 3. ほとんどない
 - 4. わからない
 - 5. まったくない
- 次ページの
問38へ

◆問37で「1. よくある」「2. ときどきある」「3. ほとんどない」と答えた方におたずねします。

問38 お子さまはどこで、だれから、どのようなことで差別を受けたり、いやな思いをされましたか。また、あなた（保護者の方）はどこに相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

どこで	1. 家 2. 通所・入所施設 3. 保育所（保育園）・幼稚園・学校 4. お店 5. 塾や習い事	6. 公共施設 7. 医療施設 8. 交通機関 9. その他 （ ）
だれから	1. 家族・親族 2. 友人・知人 3. 保育所（保育園）・幼稚園・学校の教職員など 4. 福祉サービス事業所職員	5. 店員 6. 客・利用者 7. 近隣の人 8. 知らない人 9. その他（ ）
どのようなこと	1. 嫌な気持ちになる発言・暴言 2. 施設に入れてもらえない・対応してもらえない 3. 手伝ってもらえない	4. 後回し・別扱い 5. 建物の設備などに配慮がない 6. 情報保障がない 7. その他（ ）
相談先	1. 家族 2. 親戚 3. 友人 4. 近所の人 5. 市役所 6. 民生委員・児童委員 7. 保育所（保育園）・幼稚園・学校の教職員など	8. 相談支援事業所の相談支援専門員 9. 福祉サービス事業所職員 10. 障害者団体 11. 医療関係者 12. その他 （ ） 13. 誰にも相談しなかった

◆問38の相談先で「13. 誰にも相談しなかった」と答えた方におたずねします。

問39 相談しなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 相談する必要性を感じなかった	4. 相談しても解決しないと思った
2. 相談先がわからなかった	5. その他（ ）
3. 情報がもれることが怖かった	

13 よ かつどう 余暇活動について

◆^{ぜんいん}全員におたずねします。

問40 お子さまは、^{つうしょ}通所・^{がっこういがい}学校以外の^{じかん}時間でどのようなことをして^す過ごしていることが多^{おお}いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. ^{しょうがいしやだんたい}障害者団体の活動
2. ^{ゆうじん}友人と^あ会っている
3. ^か買い物に^い行く
4. ^{いんしょくてん}飲食店に^い行く
5. テレビ・ゲーム・インターネット
6. ^{ぶんかげいじゆつかつどう}文化芸術活動
7. ^{うんどう}運動やスポーツ → ^じ次ページの^と問42・43へ
8. ^{かつどう}ボランティア活動
9. その他 ()
10. ^{とく}特になにもしてない

◆問40で「6. ^{ぶん かげいじゆつかつどう}文化芸術活動」と答^{こた}えた方^{かた}におたずねします。

問41 お子さまは、^{か こ ねん}過去1年の間^{あいだ}にどの^{ぶん かげいじゆつ}文化芸術^みを見たり、^{つく}作ったり、^{たの}楽しんだりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ^{びじゆつ}美術 (^{かいが}絵画・^{ちようこく}彫刻 など)
2. ^{ぶたい}舞台 (^{えんげき}演劇・ダンス など)
3. ^{おんがく}音楽 (^{がっしょう}合唱・^{えんそう}演奏 など)
4. ^{えいが}映画
5. ^{しょせき}書籍 (^{しょうせつ}小説・^{まんが}漫画・^し詩 など)
6. その他 ()

◆このページは、問40で「7. 運動やスポーツ」と答えた方におたずねします。

問42 お子さまは、過去1年の間にどの運動やスポーツを行ったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ウォーキング, ランニング
2. トレーニング
3. 体操 (ストレッチ, ラジオ体操など)
4. ダンス
5. 水泳
6. 球技 (サッカー, 野球, バasketボール, バドミントンなど)
7. 武道 (柔道, 剣道など)
8. サウンドテーブルテニス (※1)
9. シットイングバレーボール (※2)
10. ボッチャ (※3)
11. その他 ()

(※1) 視覚障害の方が行う卓球です。卓球台のネットの下があいており、ネットの下にボールを転がして競技を行います。目隠しを着用し、転がると音が出るボールを使用します。

(※2) 座った姿勢のままで行うバレーボールです。

(※3) 最初にジャックボールと呼ばれる白いボールを投げ、続いて赤と青の各6個のボールを投げて、どれだけジャックボールに近いところにボールを置くことができるかを競います。

問43 お子さまが運動をする場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 国分寺市の体育施設 (市民スポーツセンター, 市民室内プールなど)
2. 国分寺市外の体育施設
3. 学校の校庭, 体育館
4. 民間の体育施設 (トレーニングジムなど)
5. 東京都多摩障害者スポーツセンター
6. 公園
7. その他 ()

◆このページは、^{ぜんいん}全員におたずねします。

問44 ^{とい}お子さまが、^こ文化芸術活動^{ぶん かげいじゆつかつどう}に関わるために必要な支援^{かか}は何ですか。^{ひつよう しえん なん}

(あてはまるものすべてに○)

1. ^{びじゆつかん}美術館、^{げきじょう}劇場などの建物や設備^{たてもの}のバリアフリー化^{せつび} ^か
2. ^{じまく}字幕・^{おんせい}音声ガイドなどの情報保障^{じょうほうほしょう}
3. ^{さくひんてん}作品展、^{ぶたいこうえん}舞台公演などの発表機会^{はつびょうきかい}の拡大^{かくだい}
4. ^{かつどうばしょ}活動場所^{かくほ}の確保
5. ^{てきせつ}適切な指導者^{しどうしゃ}
6. ^{さくひんてん}作品展、^{ぶたいこうえん}舞台公演などのイベント情報^{じょうほう}の提供^{ていきょう}
7. ^{しせつ}施設の利用料減免^{りようりょうげんめん}
8. ^{しせつ}施設までの移動支援^{いどうしえん}
9. その他 (^た)
10. ^{とく}特にない

問45 ^{とい}お子さまが、^こ運動やスポーツ^{うんどう}を行うために必要な支援^{おこな}は何ですか。^{ひつよう しえん なん}

(あてはまるものすべてに○)

1. ^{たいいくかん}スタジアム、^{たいく}体育館などの建物や設備^{たてもの}のバリアフリー化^{せつび} ^か
2. ^{かいじょしゃ}介助者や手話通訳などの支援^{しえん}
3. ^{しょうがいしゃ}障害者への施設開放^{しせつかいほう}の促進^{そくしん}
4. ^{てきせつ}適切な指導者^{しどうしゃ}
5. ^{しせつ}施設の利用料減免^{りようりょうげんめん}
6. ^{しょうがい}障害^{たいおう}に対応した情報^{じょうほう}の提供^{ていきょう}や問い合わせ方法^{と あ}の充実^{ほうほう} ^{じゅうじつ}
7. ^{しせつ}施設までの移動支援^{いどうしえん}
8. その他 (^た)
9. ^{とく}特にない

14 成年後見制度について

「成年後見制度」とは、障害等によって判断能力に不安がある方が、一方的に不利益な契約を結ぶことがないように、補助人、保佐人、後見人が、本人の判断能力を補い、保護する制度です。

◆全員におたずねします。

問46 あなた（保護者の方）は、成年後見制度を知っていますか。また、今後、お子さまに制度を利用させたいですか。（1つに○）

1. どのような制度か知っており、今後、制度を利用させたい
2. どのような制度か知っているが、今後、制度を利用させる予定はない
3. どのような制度か知らない

◆問46で「2. どのような制度か知っているが、今後、制度を利用させる予定はない」と答えた方におたずねします。

問47 お子さまに制度を利用させる予定がない理由は何ですか。（主なもの3つまで○）

1. 成年後見制度を利用させる必要がない
2. 成年後見制度が必要かどうかわからない
3. 手続きが複雑である
4. 申立費用・報酬費用等の負担がある
5. 後見人に金銭管理等をゆだねることが心配
6. 他人に財産状況や生活状況を知られたくない
7. 保護者が元気なうちは、保護者が金銭管理等をしたい
8. 利用のタイミングがわからない
9. 誰が後見人に選任されるか不安である
10. その他（ ）

15 全体的な施策について

◆全員におたずねします。

問48 お子さまが暮らしやすくなるために、充実してほしいことは何ですか。
(主なもの3つまで○)

1. 障害への理解を深めるための啓発
2. ボランティア活動の支援
3. 障害のある当事者、家族同士の交流機会の拡充
4. 障害のある方とない方の交流機会の拡充
5. 相談支援体制の充実
6. ホームヘルプなど在宅生活を支援するサービス
7. コミュニケーション支援の充実
8. 生活全般にかかわる情報提供の充実
9. 家族の病気など緊急時の対応
10. 日中活動の場の充実
11. 住まいの場の充実
12. 障害の早期発見・早期対応等の促進
13. リハビリテーションの充実
14. 保健・医療サービスの充実
15. 就学前療育・保育の充実
16. 就学後療育・教育の充実
17. 就学・進路指導の充実
18. 交流教育の推進
19. 障害者雇用の促進
20. 福祉的就労の促進
21. 就労支援体制の充実
22. 駅や道路における段差などのバリアフリー
23. 移動・交通手段の整備
24. 防災・防犯体制の充実
25. 権利擁護施策の充実
26. 文化・スポーツなどを通じた社会参加の支援
27. 余暇活動の促進
28. その他 ()

16 自由意見

◆ぜんいん全員におたずねします。

問49 アンケート調査全体を通して、ご意見・ご要望がありましたら、
ご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。